

長岡京市営浴場運営委員会（令和３年度第１回）報告書（要旨）

日 時：令和３年７月３０日（木）午前１０時～１１時

場 所：北開田会館１階大会議室

出席者：奥本委員（会長）、今西委員、北村委員、野老委員、中島委員、野間口委員、菱田委員、梶田委員、吉岡委員、

担当者：社会福祉課田端課長、徳田係長、井上、北開田会館嶋谷館長

配布資料

- ・ 令和２年度市営浴場利用者集計表
- ・ 令和２年度市営浴場決算
- ・ 令和３年度市営浴場予算

会議内容

（１）役員の選任について

以下のとおり選任

会長：奥本和己委員 職務代理：岡本勉委員

※案件（２）と（３）を一括説明

（事務局）

（２）令和２年度決算等について

（事務局）

- ・ 令和２年度の利用状況及び決算の状況について説明
- ・ 新型コロナの影響等で年間営業日数は前年度比約２２％減の２４６日
- ・ 利用者は新型コロナの影響で元年度と比較して２８．５％減少している。
- ・ 全利用者のうち約６割が７０歳以上の高齢者である。
- ・ 利用料収入は大幅減。燃料費、光熱水費も新型コロナの臨時休業により大幅に減少。

（３）令和３年度予算等について

（事務局）

- ・ 令和３年度予算について説明
- ・ ２年度当初予算と比べて大きな変化はない。
- ・ 今年度の夏休み期間中の子供無料キャンペーンは、新型コロナにより中止

【主な意見】

- ・ 資料２ 令和２年度決算書の収入と支出の差が１０００万円近くあるが、この差額はどこから補填されているのか。

⇒市営浴場なので、市の一般会計予算で補填されている。

- ・市内で唯一の公衆浴場であり、市民生活の様々な場面で活用が期待できる施設であることから、今後の継続を要望する。
- ・利用者数を増やすために、ハッピーバスの運行経路に市営浴場を組み込むことはできないか。

⇒利用者の利便性を高めるためには運行経路に市営浴場を組み込むとともにバスの増便が必要になる。財政上の問題から、実現は難しいと思われる。

- ・市営浴場の場所が分かりにくいので、案内版を設置することで、市民の方々が浴場を利用しやすくなり、利用者の増加につながるのではない

⇒案内板の設置を検討する。

(4) 今後の浴場運営について

●番台及びボイラー従事者について

(事務局)

- ・本年1月以降、番台従事者の休職やボイラー従事者の退職があり、北開田だよりや市ホームページ、市民新聞で募集を行った。現在ボイラー業務は3人体制、番台業務は5人体制で運営している。前回の運営委員会でシルバー人材センターへの委託も検討すべきではないかという意見が出たが、浴場の安定運営に必要な人員体制が確保できたので、今年度は現行の体制で運営していきたい。

- ・ボイラー3人、番台5人体制であれば、突発的な要因で一人の方が欠けることになっても、残り的人で十分カバーできることから、浴場の安定運営が確保できると思われる。
- ・浴場業務は高齢者のための仕事と思っていたが、今回新たに年齢の若い人が雇用されているのはなぜか。

⇒浴場業務は幅広い年齢層の方が従事できる仕事である。よって募集時には年齢制限を設けず、与えられた職務を適正に担えるかどうかを判断基準として採用した。

●敷地内禁煙について

(会長)

- ・昨年10月から敷地内禁煙を実施し、張り紙の掲示等により周知を図ってきた。その効果もあり、敷地内喫煙者は減少しているが、完全に無くなったという状況ではない。一方で周知用の張り紙が見苦しいという意見もあり6月の下旬に一部を撤去し整理を行ったところである。

【主な意見】

- ・バリアードの設置や張り紙が多数貼ってあったときは、非常に見苦しかった。
- ・少数であるが今でも喫煙者はいるようである。喫煙する人を見かけたときは、一言声掛

けをして注意することも必要。

●その他

【主な意見】

- ・浴室内には高さの高い風呂用椅子と低い風呂用椅子があるが、高い椅子が使いにくいという声を利用者から聞く。
- ・利用者の中には高い椅子の方が使いやすいという人もいるので、現状通り高い椅子も必要である。
- ・女湯浴室内の椅子の汚れがひどいので、清掃業者の掃除を徹底させてほしい。それと併せて椅子の老朽化も激しいので、この機会にすべての椅子を新しいものと交換してほしい。

⇒ 清掃業者へ指示する。椅子の交換は検討する。

- ・水風呂の水が、時々汚れているときがあるが、利用者のマナーにも問題があると思われる。周りの人からの注意も必要。